

# 競 技 注 意 事 項

## 1 規 則

本大会は2026年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項による。

## 2 練 習

練習は補助競技場を使用する。競技運営に支障がない限り本トラックを一部開放するが、競技役員の指示に従うこと。競技開始30分前までは本トラックを練習に開放する。その際1～3レーンは周回練習。スピード練習は主にバックストレート5～8レーンとし、ホームストレートで行わないこと。ホームストレート7・8レーンはハードル練習とする。また、跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は役員の指示に従って行うものとする。

## 3 競 技 場

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を厳守すること。競技用シューズの靴底については競技規則TR5(シューズ)を適用(サークルを使用する投てき種目は除く)する。

## 4 招 集

- ① 招集は100mスタート後方付近の器具庫内で行い、その後、現地担当者から最終確認を受けること。
- ② 招集に遅れたものは、棄権とみなし出場を認めない。
- ③ 招集は、競技開始時刻の、トラックは20分前、フィールドは40分前までに完了すること。(プログラムの競技日程を参照)
- ④ 本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。(一つの種目に出場していて、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。)これを怠った者は棄権とみなす。

## 5 アスリートビブス ※白布に黒文字で作成し、他のアスリートビブスの裏面や紙を使い作成した物は認めない。

- ① アスリートビブスは2枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか1枚でよい。
- ② トラック競技のアスリートビブス・腰ナンバー標識は次の通りとする。

	100m・200m・400m・800m・1500m・100mH・400mH 4×100mR・4×400mR・跳躍競技・投てき競技	3000mSC
アスリートビブス	白地の布で登録番号を各自で用意 (紙に記入や裏面記入は認めない)	レーンナンバーを主催者が用意 ※登録番号を見せてレーンナンバーを受取る
腰ナンバー標識 ※トラック競技のみ	レーンナンバーを主催者が用意 ※4×100mRは4走のみ ※4×400mRは2～4走のみ	レーンナンバーを主催者が用意

- ③ 主催者が用意する特別アスリートビブスおよび腰ナンバー標識は、招集でチェックを受ける際に受けとること。なお、主催者が用意した特別アスリートビブス・腰ナンバー標識ともに競技後、フィニッシュ地点で返却すること。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。

## 6 走路の決定及び競技順序について

トラック競技の組・レーン、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。なお、トラック競技における決勝の組・レーン順は本部で抽選し記録掲示場所に掲示する。(シードレーンは種目により異なり競技規則TR20.4 3.4.5を用いる)

## 7 競技方法

### 【トラック競技】

- ① 予選を行う種目において出場者が8名以下となった場合、予選を行わずその出場者で決勝を行う。決勝の番組編成は本部で抽選し、掲示する。また、タイムレース決勝で行われるリレー競技について、オーダー用紙の提出〆切時に出場チームが8チーム以下だった場合、本部にて番組編成を行い1組で競技を実施する。
- ② 400mまでの種目およびリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時1/1000)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ③ スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
- ④ 3000mSCは、当日の気象条件によっては競技開始前に中止の判断をすることもある。  
※レース中、参加校の先生方は選手の体調急変・見守りを含めてトラック面での観察をお願いします。

### 【リレー競技】

- ① 出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成して当日の12時以降、招集完了時刻60分前までに招集所に提出すること。その後、招集完了時刻までに4人そろって招集を受けること。
- ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームと確認できるものとする。

## 【フィールド競技】

- ① バーのあげ方については審判長及び跳躍主任の判断により係員が指示する。
- ② 1位決定にかかるバーのあげ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。
- ③ 競技場内での助力は禁止とする。競技区域外で撮影された映像を見ることがや録画再生機器を手にする事はよいが、その際は競技役員の指示に従うこと。

## 8 警告

競技規則 CR18.5 の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームに警告（YC・イエローカード）が与えられることがある。スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（YC）が与えられることがある。2回のYCを受けた競技者は競技会から除外される。

## 9 検査

棒高跳用ポール・投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。但し、承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。

★投てき用具の検査時間 両日とも8:00～8:15

## 10 入賞および得点（両地区共通）

- ① 入賞は8位までとする。
- ② 得点は各種目1位8点、2位7点、……8位1点とする。
- ③ 合計得点により、男女の学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。）

## 11 表彰

【湘南地区】

- ① 各種目8位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、男女とも8位まで賞状を授与する。

【横三地区】

- ① 1部、2部、共通各種目3位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、男女とも8位まで賞状を授与する。

## 12 その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合は、8:15までに本部まで申し出ること。
- ③ 参加各校の生徒役員（各校2名以上）は、8:15に本部前に集合すること。
- ④ 待機場所としてのテント設置可能区域は、サブトラック周辺・スタンド後方・スタンドの指定された場所のみとする。
- ⑤ 応援はスタンドで行い、正面スタンド手すり付近での集団応援は慎むこと。
- ⑥ トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。
- ⑦ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。
- ⑧ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。
- ⑨ 競技場の開門は7:00（予定）とする。※開門前の待機場所が少ないため早くからの集団待機は控えること。
- ⑩ 競技会終了後は、直ちに退場すること。
- ⑪ 準備、片付けは両地区の参加各校で協力して行う。
- ⑫ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。
- ⑬ 大会本部はメインエントランスに設ける。

### ◆競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技会における事故防止の観点から、トラック面では日傘の使用を控えること。
- ④ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ⑤ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑥ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

### ◆撮影に関するお願い（学校関係者のみなさま）

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

① 撮影は全て、スタンドから行ってください。 ※トラック面での撮影は禁止です。

- ② 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。
  - ・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。
  - ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
  - ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
  - ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
  - ・競技者がスターティングブロックを調整したりする動作中や試技を待っている間など、準備を行っている際の撮影は禁止。

- ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。
  - ③ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。
  - ④ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただく場合があります。
  - ⑤ 競技運営上、競技役員判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。
  - ⑥ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際は競技役員指示に従ってください。
- ※ 盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。